



成長する力を支えていく

校長 竹越 典子

鮮やかな新緑や花々に心癒され、風薫る5月となりました。新1年生も加わり、子供たちは毎日の生活を生き生きと過ごしています。

新しい環境にだんだん慣れてきた頃ですが、子供たちは力強く学校生活を送っています。1年生にとって、4月は、学校での様々なことがどれも初めての体験で、緊張の連続だったと思います。1年生を見ていると、一日一日いろいろなことを吸収し、少しずつ身に付けていっている様子がよく分かります。最初はどううまくできないことも経験することで少しずつできるようになっていく、その積み重ねでしっかりと身に付いていくのだな…と、頑張っている姿から再認識することができました。子供に未経験のことをやらせることは、大人にとっては、勇気が必要なときもありますが、失敗を恐れず、経験させることで成長できることもたくさんあると思っています。「やってみよう」の精神ですね。

そして、2年生から6年生までの子供たちも、新たに塚越小の仲間になった1年生に、声をかけたり、助けたりする場面をよく見ます。最高学年の6年生は、朝の準備の手伝いや、掃除の時間も掃除の仕方を教えながら一緒に掃除をしてくれています。また、休み時間も外で元気に遊び、チャイムとともに仲良く戻ってくる姿を目にします。学校は楽しいよ、ということをあらゆる場面で伝えてくれています。1年生からの「ありがとう」の声もたくさん聞こえて来ます。子供たち同士も支え合っているんだなと、うれしく思います。

また、先日の1年生を迎える会では、各学年とも、趣向を凝らした出し物を披露し、1年生への思いが伝わる温かい雰囲気の家となりました。

笑顔いっぱいスタートしたR8年度も、子供たちとともに、教職員一丸となって、幸せいっぱいな学校になるよう引き続き努力していく所存です。



<塚越小学校生徒指導の基本方針について>

本校では毎年、年度当初にこの基本方針を全教職員で確認しています。今年度も、我々教師自身の今までの指導を振り返り、特に教師自身の言葉遣いには今まで以上に十分気をつけ、子供たちのお手本となる言葉遣いを意識すること、感情的に「怒る」のではなく、適切に「叱る」こと等を十分意識し、生活指導をしていくことを確認しました。教師の共通理解・共通行動が、常日頃の児童への行動指針となります。自学年のみならず、他学年・他学年においても、適切に指導すると共に、組織的に指導に当たります。

すべては、塚越小の子供たちが、将来社会の中でよりよく生きていけるよう、規律ある態度や自律心を育むために、今後も生活面の指導に力を入れていく所存です。また、保護者様にもご協力を仰ぐこともありますが、どうぞよろしくお願いいたします。そして、不安や心配な点があれば、遠慮なく学校にご相談いただければと思います。